

大阪府立弥生文化博物館 平成24年度 冬季企画展

装剣

飾

装剣金具の粹



平成25年 1月13日(日) - 3月20日(水祝)

[開館時間] 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

[休館日] 毎週月曜日 (ただし1月14日、2月11日は開館)、1月15日(火)、2月12日(火)

[入館料] 一般400円、65歳以上・高大生300円

※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名様は無料 ※20名様以上の団体は2割引

主催：大阪府立弥生文化博物館

後援：泉大津市・泉大津市教育委員会・和泉市・和泉市教育委員会

協力：浪速装剣小道具研究会

PHOTO: DAIDO to PHOTO 大造雪代 DESIGN: POPWORKS 松尾エリ

KANZAN

飾

弥生時代、日本列島内に伝わった金属製の武器類は人びとのあこがれの的となり、その外装に数々の意匠をこらして飾りたてたことが出土品からうかがえます。

それは古墳時代以降にも受け継がれ、やがて権力と地位とを象徴する道具として特別に扱われ、正倉院や歴史の深い社寺には今もなお数多くの遺品が残されています。

江戸時代には、武士社会の確立とともに侍の正式な外装には厳しい規定が出されましたが、やがて、豊かな財力を手にした町人の中には、それぞれの好みに合わせて外装を製作し、みずからの教養や財力を誇示する者も現れました。

それらの外装に用いられた装剣金具には職人の粋が凝らされ、その意匠と細密な技法には思わず目を奪われるものがあり、今も一部にその技術が伝承されています。

また、「目貫(抜)通り」「鐔競り合い」など、現在でも装剣金具にまつわる言葉は数多く、今回の企画では、これら美しい工芸品と身近な言葉の由来との対比をあわせてご覧頂きます。



第3回
3月9日(土)

「弥生・古墳時代の刀装具」
大阪府立近つ飛鳥博物館 森本徹

講演会の

時間：いずれも午後2時～4時

参加費：無料(要入館料)

定員：各回とも170名

(当日先着順 開館時より)

整理券配付・午後1時30分から受付)

第2回

2月23日(土)

「京金工の魅力と展開」

～一宮長常から阪井俊政まで～
大阪歴史博物館 内藤直子氏

【講演会】

第1回

1月14日(月祝)

「装剣金工の名門・後藤家の歴史」

高槻市立しろあと歴史館

千田康治氏



【学芸員による展示解説】

1月14日(月祝)、2月23日(土)、3月9日(土)

時間：午前11時～(約1時間) 参加費無料(要入館料)

【ワークショップ】

○消しゴムで?がてきちゃった○

2月2日(土)

時間：午後1時～3時 申し込み不要

○鉄鐔の模様を写し取ってみよう○

2月17日(日)、3月17日(日)

時間：午後1時～3時

定員：各日とも36名 所要時間：約15分

申し込み：電話0725-46-2162

*1月16日(水)午前10時から受付開始

各日とも参加費無料(要入館料)



ACCESS



JR阪和線「唐太山」駅下車西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、真 11:30 駅で普通電車にお乗り換えください。

大阪駅からお越しの場合は、「關西・紀州路快速」をご利用になると便利です。
真から3駅目の唐太山(仮)駅です。



国道26号「池上町」交差点南西角
P普通車72台(無料)

大阪府立近つ飛鳥博物館 平成24年度冬季特別展
「歴史発掘 おおさか 2012」

—大阪府発掘調査最新情報—

会期：平成25年1月26日(土)～3月24日(日)

アスカティア・古墳の森
大阪府立近つ飛鳥博物館
OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM

〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
TEL:0721-93-8321(代) FAX:0721-93-8325
http://www.chikatsu-asuka.jp/



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4丁目8-27 TEL.0725-46-2162
http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/